

平成26年度学術情報委員会活動経過報告

I. 会議等の開催状況

第1回 平成26年 8月26日(火) 於：京都大学附属図書館

第2回 平成26年11月17日(月) 於：東北大学附属図書館1号館

II. 活動内容

1. 今年度の学術情報委員会の活動について

今年度は、以下の4点を中心に取り組むこととした。

(1) オープンアクセスの対応

オープンアクセスジャーナルおよび Article Processing Charge (APC) の状況について、Directory of Open Access Journals (DOAJ) の整備状況に留意し、国立大学図書館協会以外による調査動向も踏まえ、継続して対応を検討する。また、オープンアクセスポリシーについて、連携・協力推進会議「機関リポジトリ推進委員会」での検討状況をみながら、今後の対応を検討する。

(2) GIFにおける新プロトコルへの対応と現行システム運用支援体制の整備

国公立大学図書館協力委員会および連携・協力推進会議「これからの学術情報システム構築検討委員会」(以下「これから委員会」という。)の動向にあわせ、検討を進める。ただし、North American Coordinating Council on Japanese Library Resources (NCC)等の海外関係機関と調整が必要になった場合には、国立大学図書館協会として対応する。

また、Global Interlibrary loan Framework (GIF) の運営に係る日常的な問題の解決については、GIFプロジェクトチームが対応する。

(3) 「学術情報の利用と保存」プロジェクトチームの継続

昨年度に引き続き、継続して活動を行う。今年度の活動内容は以下を中心とする。

- 1) 昨年度報告書のフォローアップ
- 2) シェアードプリント

(4) 今後の大学図書館関係のシステム検討

- 1) 国立情報学研究所にて導入が予定されている SINET5 を見据えた今後の大学図書館システムの検討および「これから委員会」への対応を行う。
- 2) 国立情報学研究所が運営する CiNii Books による総合目録データベース API 公開を活用した資料評価等を目指した標準アプリの作成を行う。

2. GIF プロジェクトチームの活動について

(1) 日米 ILL/DD および日韓 ILL/DD プロジェクトについて

別紙「日米 ILL/DD および日韓 ILL/DD プロジェクト状況報告」を参照。

(2) 会議等の開催状況

1) 第1回 GIF プロジェクトチーム会合（平成26年12月開催予定で調整中）

- ① 日常的な Global Interlibrary loan Framework (GIF) の運営に係る課題の整理について
- ② GIF ガイド（マニュアル）の改訂について
- ③ その他

3. 学術情報の利用促進と保存プロジェクトチームの活動について

今年度は、昨年度まとめたシェアードプリントについての報告書のフォローアップを行うとともに、欧米における学術雑誌のシェアードプリントの事例について英国の UK Research Reserve (UKRR; www.ukrr.ac.uk/) 及び米国の Western Regional Storage Trust (WEST; www.cdlib.org/services/west/) について調査している。

4. システム検討小委員会の活動について

(1) 会議開催状況

第1回 平成26年10月27日（月） 於：国立情報学研究所

(2) 活動状況

以下の方針に基づき活動・検討を進めることとした。

- 1) 「これから委員会」への対応として、派遣委員からの報告に基づき、適宜検討し学術情報委員会に報告する。
- 2) 今後の大学図書館システムの検討については、「これから委員会」並びに科学技術・学術審議会のもとの「学術情報委員会」等の検討の方向性を見据えて、また、『電子環境下における今後の学術情報システムに向けて』（平成23年度、学術情報委員会 学術情報システム検討小委員会報告書）も参考にしながら検討する。
- 3) API 活用標準アプリについては、検討の進捗に応じて必要であればワーキンググループを設置して活動する。

Ⅲ. 委員構成

1. 学術情報委員会

委員長：	引原 隆士	京都大学図書館機構長
委員：	新田 孝彦	北海道大学附属図書館長
	大西 明美	帯広畜産大学教育研究支援部学術情報室長
	加藤 信哉	筑波大学附属図書館副館長
	関川 雅彦	東京大学附属図書館事務部長
	熊渕 智行	東京大学附属図書館情報管理課長
	上原 正隆	一橋大学学術・図書部長
	深貝 保則	横浜国立大学附属図書館長
	古畑 徹	金沢大学附属図書館長
	酒井 清彦	名古屋大学附属図書館事務部長
	甲斐 重武	京都大学附属図書館事務部長
	高橋 努	広島大学図書館副図書館長
	吉田 素文	九州大学附属図書館副館長
	渡邊 俊彦	鹿児島大学学術情報部長
事務：	相原 雪乃	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長
	大西 直樹	京都大学附属図書館副事務部長
	井上 敏宏	京都大学附属図書館総務課長補佐

2. GIFプロジェクトチーム

主 査：	上原 正隆	一橋大学学術・図書部長
	小林 泰名	北海道大学附属図書館利用支援課係長（相互利用担当）
	細川 聖二	筑波大学附属図書館情報サービス課長
	鈴木 秀樹	新潟大学学術情報部学術情報管理課長
	中谷 実邦子	東京大学地震研究所庶務チーム（図書）係長
	上村 順一	東京海洋大学附属図書館情報サービス係長
	赤木 真由子	一橋大学学術・図書部学術情報課レファレンス係
	原竹 留美	京都大学附属図書館情報サービス課相互利用掛長

3. 学術情報の利用促進と保存プロジェクトチーム

主 査：	加藤 信哉	筑波大学附属図書館副館長
	関川 雅彦	東京大学附属図書館事務部長
	山本 和雄	横浜国立大学図書館・情報部図書館情報課長

4. システム検討小委員会

主 査：	甲斐 重武	京都大学附属図書館事務部長
	熊渕 智行	東京大学附属図書館情報管理課長
	酒井 清彦	名古屋大学附属図書館事務部長
	高橋 努	広島大学図書館副図書館長
	渡邊 俊彦	鹿児島大学学術情報部長

日米 ILL/DD および日韓 ILL/DD プロジェクト状況報告

1. 日米 ILL/DD プロジェクト

1) 「文献複写サービス」参加状況

参加機関数は、平成 26 年 9 月 30 日現在、日本側 166、米国側 109 であり、平成 26 年 4 月以降、日本側は変動なし、米国側で 3 館増加の状況である。

2) 「現物貸借サービス」参加状況

参加機関数は、上記同日現在、日本側 92、北米側 82 であり、平成 26 年 4 月以降、日本側は変動なし、北米側は 4 館増加の状況である。

3) 日米 ILL/DD 実施状況

平成 26 年 4 月 1 日～9 月 30 日までの日米 ILL/DD の実施状況は、表 1 のとおりである。前年同期に比べ、依頼件数で 166 件増、受付件数で 106 件減となっている。日本側受付分の謝絶率は 68.1%である。(66.1% (21 年度) →67.5% (22 年度) →63.3% (23 年度) →69.0%(24 年度) →71.3%(25 年度))。一方、日本側依頼分の謝絶率は 38.5%である。(49.0% (21 年度) →45.6% (22 年度) →37.5% (23 年度) →38.4%(24 年度) →43.7%(25 年度))

表 1 日米 ILL/DD 実施状況 (平成 26 年 4 月～9 月)

	依頼件数				受付件数			
	完了	謝絶	その他	計	完了	謝絶	その他	計
文献複写	512	314	0	826	160	227	0	387
現物貸借	120	81	0	201	105	340	0	445
合計	632	395	0	1027	265	567	0	832

2. 日韓 ILL/DD プロジェクト

1) 参加状況

参加機関数は、平成 26 年 9 月 30 日現在、日本側 120、韓国側 321 館となっている。平成 26 年 4 月以降、日本側では 1 館減少、韓国側で 4 館の増加である。

2) 日韓 ILL/DD 実施状況

平成 26 年度の 4 月 1 日～9 月 30 日までの日韓 ILL/DD の実施状況は、表 2 のとおりである。前年に比べ、依頼件数は 13 件増、受付件数は 157 件増である。謝絶率は依頼分が 5.0%で昨年度 (23.5%) に比べ、かなり低い数値となっている。受付分においては 44.0%で昨年度 (38.1%) に比べやや高い数値となっている。依然として、日本側受付件数が依頼件数を大きく上回る状況が続いている。

表 2 日韓 ILL/DD 実施状況 (平成 25 年 4 月～9 月)

	依頼件数				受付件数			
	完了	謝絶	その他	計	完了	謝絶	その他	計
文献複写	22	3	0	25	1,294	716	0	2,010